

一人ひとりが主役です

国民参加の森林づくり

近年、開発による森林伐採や酸性雨などによって国内外で豊かな森林が失われつつあります。二酸化炭素の吸収源である森林の衰退は、地球温暖化や砂漠化といった環境問題を深刻化させています。

いま、森林を守り育てることの大切さを一人ひとりが考え、それぞれの立場でできることから森林づくりに参加しませんか。

日本の国土の約7割は森林です

林は木材を提供するほか、湯水や洪水などの災害を防止したり、二酸化炭素を吸収したりするなど、さまざまな機能を持っています。また、きれいな水や空気を育み、レクリエーションの場を提供するなど、私たちの暮らしに限りない恵みをもたらしています。

国土の約7割を森林が占めている

日本では、森林は古くから、樵(きこり)などのさまざまな人々や技に支えられ、守り育てられてきました。しかし、化石燃料や輸入木材の使用が進み、私たちと森林とのかわり変わり、手入れ不足による森林の荒廃などもみられます。恵み豊かな森林を守るために、私たち一人一人が森にかかわる技や知恵を伝承し、森とともに生きるライフスタイルをつくりあげていくこと

が求められています。

森林ボランティアが活躍しています

国民の森林づくりへの参加意識が高まっています。全国では、身近な里山や人工林の整備に取り組むなど、一般の人たちによる森林ボランティアの活動が年々盛んになっており、新たな国民参加の森林づくりの担い手として期待されています。

林野庁では、ボランティア活動の場

を提供したり、指導者育成のための研修を開催したりするなど、国民と身近な森林を結び、森林ボランティア活動がより円滑に進むようにさまざまなサポートを実施し、国民参加の森林づくりを支援しています。国民参加の森林づくりに関する問い合わせなどは、林野庁に設置された「森林ボランティア支援室」で受け付けています。

一人ひとりに森林とかかわることの大切さを理解してもらうための活動が行われています

森林ボランティア

国民の森林づくりへの参加意識が高まっており、全国でさまざまなボランティア活動が展開されています。

- ・各地域での森林ボランティア情報

<http://www.green.or.jp/volunteer/index.html>

- ・国民参加の森林づくりに関するお問い合わせは、

林野庁「森林ボランティア支援室」
volunteer@nm.maff.go.jp



緑の募金

毎年2～5月と9～10月に全国で展開される「緑の募金」は街頭募金やインターネットなど、さまざまなかたちで参加できます。「緑の募金」は、海外の砂漠化や洪水を防止するための植林をはじめ、国内の荒れた水源林などの手入れや、国民の森林づくり活動の支援などに活用されています。

<「緑の募金」はこちらで>

- ・郵便振替
(社)国土緑化推進機構 緑の募金
郵便振替 東京00150-0-173400
- ・銀行振込
みずほ銀行 町村会館出張所
(社)国土緑化推進機構
店番号013 口座番号(普通)1834713
- ・インターネット
緑の募金ホームページ
<http://www.green.or.jp/>
- ・緑の募金箱
コンビニエンスストアなどの募金箱で

